

平成29年度 事業報告書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 **講 道 館**

平成 2 9 年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視し指導に当たった。

平成 2 9 年度の学校講道館の生徒数について、平成 2 7 年度、2 8 年度を挙げて 2 9 年度と比較した。

(生徒数の変遷)

(名)

	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
柔道普通科	5 1	5 8	7 7
柔道特修科	1 2 8	1 0 9	1 5 3
柔道補習科	4 9	1 9	2 8
柔道研修科	1 8	1 8	1 9
柔道国際科	3 4	3 1	3 9
合 計	2 8 0	2 3 5	3 1 6

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ 1 7 0 名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

(指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員 (19 名)、成年部指導員 (29 名)、女子部指導員 (17 名) 及び大阪道場指導員 (25 名) を選任し、学校講道館では少年部講師 (23 名)、男子部講師 (42 名)、女子部講師 (11 名) 及び国際科講師 (9 名) を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基づいた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導に当たった。

(稽古時間及び指導時間)

(本館)

(大阪)

ア. 一般稽古

午後 6 : 0 0 - 8 : 0 0

平日 男子 午後 4 : 0 0 - 8 : 0 0

女子 午後 6 : 0 0 - 7 : 3 0

土曜 男子 午後 4 : 0 0 - 7 : 3 0

女子 平日に同じ

イ. 少年指導

午後 4 : 3 0 - 6 : 0 0

午後 5 : 0 0 - 6 : 0 0

ウ. 「形」指導

毎月第2・第3土曜日 午後3:30-5:30
火曜日・金曜日 午後5:00-7:00

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、年1回の全体研修会を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1・2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、7月12～21日の10日間（申込者数274名 皆出席者数128名）、大阪国際柔道センターにおいて、7月20～25日の内5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、平成30年1月6～15日の10日間（申込者数324名 皆出席者数183名）、大阪国際柔道センターにおいては、1月15～20日の内5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 一年間13回実施し、合計1,347名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合（平成29年6月4日）：男子471名 女子67名 計538名
抜群者 なし

秋季紅白試合（平成29年10月15日）：男子337名 女子78名 計415名
抜群者 男子0名 女子1名（初段→二段）

大阪前期紅白試合（平成29年4月22、23日）：男子117名 女子19名 計136名

抜群者 男子2名（二段→三段1名、初段→二段1名） 女子0名

大阪後期紅白試合（平成29年12月16、17日）：男子111名 女子24名 計135名

抜群者 なし

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

平成29年8月21日、22日、福岡県福岡市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国（47都道府県）委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校柔道に期待すること」「国際柔道連盟試合審判規定改正の要点」について講話を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 平成29年6月3日（土）に青少年の柔道普及を目的として「少年少女柔道錬成発表会」を大阪国際柔道センターで開催した。当日は、幼少年部の練習生・保護者が多数集まり、親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も行い、充実した催しとなった。

(2) 平成30年2月3日（土）に開催された全日本柔道少年団各地区代表者会議の場において、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

(3) 大阪国際柔道センター少年部の10名が本館の「少年柔道夏期講習会」に参加した。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体（110団体）の会長会議を平成30年2月20日（火）に開催した。講道館級位（少年）について、講道館青少年育成講習会についてそれぞれ説明が行われ、参加者からの質問に回答した。また、国際柔道連盟審判規定の改正等についても質問がよせられ、活発な意見交換が行われた。

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

夏期講習会を平成29年7月14日から8月20日までの間、実施した。

*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を実施した。派遣先は計12カ所で、講師の延べ人数は13名であった。

*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

*附属明細書③参照

(4) 青少年育成講習会

日本の将来を背負う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」を全国6カ所で行った。

①士別（北海道）②淡路島（兵庫県）③五島（長崎県）④三沢（青森県）

⑤八丈島（東京都）⑥読谷（沖縄県）

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣を、下記の通り行った。

ア. 本館による短期派遣（6ヶ国、10名）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（2ヶ国、3名）

ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（3カ国、3名）

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（1ヶ国、2名）

オ. 国際交流基金との共催事業による短期派遣（6ヶ国、10名）

カ. 日本武道館による武道団派遣（1ヶ国、6名）

キ. 国際柔道連盟（IJF）、アジア柔道連盟（JUA）関係諸行事及び大会への派遣（8ヶ国、24名）

*附属明細書④参照

(2) 外国人柔道指導者等の受入れを、下記の通り行った。

ア. 平成29年度、本館において修行した外国人は男子74カ国より1,577名、女子44カ国より413名、合計で77カ国より1,990名であった。

昨年と比べ、国数においては9カ国の増、修行者数では男子259名の増、女子82名の増、全体で341名の増であった。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチームは74団体であった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、海外の柔道指導者を受け入れた。

期間：平成30年3月6日～3月29日

受講者：イタリア2名、オーストラリア2名、キルギス2名、カザフスタン2名 計8名

エ. 国際交流基金アジアセンターとの共催によるアセアン向け国際セミナーを下記の通り行った。

期間：平成29年9月6日～27日

参加国：カンボジア、ミャンマー、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール、ラオス、マレーシア、インドネシア 計9カ国18名

オ. その他来館者（デモンストレーション、賓客、取材等）

ポルトガル柔道連盟会長

平成29年4月11日

IJF取材（Sports for Tomorrow）

平成29年11月14日～20日

A T O M（ブラジルTV）取材

平成29年10月28日

モンゴル外務大臣、柔道連盟副会長

平成30年2月21日

(3) 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員に関わる事業等

ア. 青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

i. 期間：平成29年9月6日～27日

受講者：平成29年度3次隊研修生3名

- ii. 期間：平成30年3月6日～29日
受講者：平成30年度1次隊研修生6名、2次隊研修生6名
- イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている青年海外協力隊員
平成29年度に任期を終了して帰国した隊員は計7名であった。
平成30年3月31日現在で赴任中の隊員は計17名であった。
- ウ. JICA シニア海外ボランティア
平成29年度に任期を終了して帰国したシニア海外ボランティアは計1名であった。
平成30年3月31日現在で赴任中のシニア海外ボランティアは計2名であった。
*附属明細書⑤参照

(4) 柔道器材支援

- a. 寄贈
講道館柔道器材支援として、柔道衣合計16着を寄贈した。
- b. 提供
支援用柔道衣として、合計150着の柔道衣の提供を受けた。

8. 柔道に関する調査研究

- (1) 講道館柔道科学研究会運営委員会を開催した。議題は研究集会の実施についてであった。
以下の要領で研究集会を平成29年10月28日に開催した。
演題：「生きる力」のスポーツ心理学-スポーツと生きる力の関係を科学する-
講師：島本好平氏（明星大学准教授）
- (2) 講道館技研究部会は、柔道の技100本を制定した。また、講道館柔道の審判規定および少年柔道護身法（こどもの形）について協議を行った。
- (3) 形部門に特化して「形検討委員会」において各形の留意点作成の為の協議を行った。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

- (1) 雑誌「柔道」
講道館機関誌である月刊「柔道」を4月号1,700部、5月号1,400部、6月号1,750部、7月号～12月号1,350部、1月号～3月号1,300部を毎月1日に発行した。内容は講道館柔道に関する論説、講道館行事の報告、講道館主催の講習会、国内外の主要な大会、全柔連のページ、各地だより、昇段者、月次試合、科学の頁等であり、広く国内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

- ア. 資料の保存環境の向上
定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。
- イ. 入館者数 5,324人（前年度比 804人増）
国内男性1,330人、国内女性600人、海外男性2,316人、海外女性1,078人
総合的学習の一環として来館した学校は以下の4校（事前申請のあった学校のみ記載）
 - 宮城県大和町立大和中学校
 - 文京区立千駄木小学校
 - 愛知県知多郡武豊町立武豊中学校
 - 千葉大学附属中学校
- ウ. 資料収集の促進
寄贈受入 11点
- エ. 大会開催日等における休日開館
実施日：全国少年柔道大会合同錬成（5月4日）、全国少年大会（5月5日）、日整全国少年柔道大会（10月8日）、全日本柔道形競技大会（10月22日）、嘉納師範生誕祭（10月28日）、文京区柔道大会（11月3日）、鏡開式（1月14日）

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 175 冊
- b. 洋書 33 冊
- c. 映像資料 16 点

蔵書数は和書 4,998 冊、洋書 1,158 冊の合計 6,156 冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 79 点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

a. 寄贈

- ・「柔道」講道館, 88 巻 4-12 号, 89 巻 1-3 号 2017 年 4-12 月, 2018 年 1-3 月
- ・「月刊武道」日本武道館, 2017 年 4-12 月, 2018 年 1-3 月
- ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 39 巻 4-12 号, 40 巻 1-3 号 2017 年 4-12 月, 2018 年 1-3 月

b. 購入

- ・「武道学研究」(平成 29 年度分)
- ・「体育学研究」(同上)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 41 件(研究者、学生、マスコミ関係者、一般等)

オ. 図書館利用者数 475 人(前年度比 138 人減)

国内男性 233 人、国内女性 57 人、海外男性 118 人、海外女性 67 人

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度優勝者、準優勝者等の推薦 3 名と全国 10 地区代表 34 名の計 37 名により、4 月 16 日横浜文化体育館にて開催した。

(2) 全国柔道高段者大会

4 月 28 日講道館大道場で開催した。全国から八段 30 名、七段 210 名、六段 471 名、五段 557 名、合計 1,268 名の参加があった。

(3) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道選手権大会は、4 月 29 日に日本武道館で盛大に執り行った。出場選手は、推薦選手として前年度優勝者、準優勝者、そして昨年リオデジャネイロ五輪優勝者の 3 名と全国 10 地区選出の 40 名を合わせた計 43 名であった。

(4) 全国少年柔道大会

第 37 回全国少年柔道大会は 5 月 5 日講道館大道場において開催した。都道府県各 1 チーム(東京都は 2 チーム)の 48 チームが参加、試合は団体戦のみで、3 チームによる予選リーグを行い、勝ち上がった 16 チームにより決勝トーナメントで優勝を競った。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、10 月 22 日に講道館大道場で開催した。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の 7 種目が行われ、全国の 10 地区代表 140 名、推薦枠 11 組 22 名および全国枠 6 組 12 名の合計 174 名により優劣を競った。

12. 柔道の段位認定

(1) 入門者

本年度の入門者は 21,273 名で昨年度に比べ 1,584 名の増となった。

過去 10 年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H 2 0	2 5, 2 8 1 (男子) 21,345 (女子) 3,936	+ 9 3	H 2 5	2 1, 6 4 3 (男子) 17,543 (女子) 4,100	- 1, 4 1 2
H 2 1	2 3, 9 2 9 (男子) 19,867 (女子) 4,062	- 1, 3 5 2	H 2 6	2 0, 8 8 1 (男子) 16,927 (女子) 3,954	- 7 6 2
H 2 2	2 4, 1 1 6 (男子) 19,949 (女子) 4,167	+ 1 8 7	H 2 7	2 0, 3 8 6 (男子) 16,400 (女子) 3,986	- 4 9 5
H 2 3	2 2, 7 2 9 (男子) 18,680 (女子) 4,049	- 1, 3 8 7	H 2 8	1 9, 6 8 9 (男子) 15,879 (女子) 3,810	- 6 9 7
H 2 4	2 3, 0 5 5 (男子) 18,995 (女子) 4,060	+ 3 2 6	H 2 9	2 1, 2 7 3 (男子) 16,917 (女子) 4,356	+ 1, 5 8 4

(2) 外国人入門者（上記(1)の内数）

本年度の外国人入門者は69の国・地域から男子758名、女子225名の合計983名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計28,488名で昨年度に比べ1,642名の増となった。過去10年の昇段状況は次のとおりである。

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H 2 0	3 3, 9 3 4 (男子) 29,194 (女子) 4,740	+ 2 9 9	H 2 5	3 0, 3 2 6 (男子) 25,197 (女子) 5,129	- 2, 0 0 7 ※385名
H 2 1	3 2, 5 7 7 (男子) 27,706 (女子) 4,871	- 1, 3 5 7 ※含最高審議会 308名	H 2 6	2 8, 4 0 6 (男子) 23,413 (女子) 4,993	- 1, 9 2 0
H 2 2	3 2, 2 4 1 (男子) 27,161 (女子) 5,080	- 3 3 6	H 2 7	2 7, 9 8 8 (男子) 23,061 (女子) 4,927	- 4 1 8 ※369名
H 2 3	3 1, 9 4 0 (男子) 26,833 (女子) 5,107	- 3 0 1 ※356名	H 2 8	2 6, 8 4 6 (男子) 22,042 (女子) 4,804	- 1, 1 4 2
H 2 4	3 2, 3 3 3 (男子) 27,181 (女子) 5,152	+ 3 9 3	H 2 9	2 8, 4 8 8 (男子) 23,278 (女子) 5,210	+ 1 6 4 2 ※389名

※最高審議会を含む

13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる際に、参加者及び指導者・運営役員等に対して宿泊や休憩のための施設を安価に提供した。30年2月から3月にかけて同宿泊施設のリニューアル改修工事を実施し、数多くの利用者が長期に亘り快適に過ごせるよう、サービスの向上に努めた。また、若干の値上げも行った。宿泊施設が道場や会場と隣接していることで効率的・効果的な活動をサポートし、健康面、安全面、衛生面でも安心して使用して頂けるよう努力した。29年度宿泊者は延べ総数8,736人であった（28年度9,961人）。

【収益事業】

14. 物品販売

柔道関係の書籍・ビデオ・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) DVD

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、全日本柔道選手権大会
激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ
ビデオ
三船十段、鏡開式

(3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、キーホルダー、額（大）、額（小）、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）
師範遺訓額（和文、英文付き、和文〈小〉）銀製バッジ（ネジ/タックピン）
並バッジ（蝶ピン/ネジ/安全ピン）

(4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(5) その他

講道館マーク使用料 3件
売店手数料収入 1件

15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

講道館本館 7階	歯科医院
本館 6階	医院
本館 5階	事務所
本館 4階	事務所
本館 2階	事務所
新館 1階・地下	物品販売
大阪国際柔道センター 1階	飲食店
3階	事務所

(2) 駐車場

講道館	8台（月極）
	19台（インターネット予約サイト）
大阪国際柔道センター	9台（月極）

(3) 自動販売機、その他（ロッカー、コイントリー等）サービス

事業報告書－附属明細書

①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子弐段以上	柔道指導者の資質の向上	7.14 ~ 7.21	293 (161)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	7.24 ~ 7.28	339 (287)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	7.31 ~ 8.3	44 (38)
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	7.31 ~ 8.2	247 (198)
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	指導法の学習	8.18 ~ 8.20	45 (39)
計				968名 (723名)

②講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2017/5/14(日) 9:30~12:00	和歌山県柔道連盟	田辺市立武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」について	高橋 健司
2	2017/5/18(木) 9:00~15:30	鹿児島県柔道会	鹿児島県立総合体育センター 武道館	「柔道理論」、「投の形」、「固の形」	鮫島 元成
3	2017/5/18(日) 9:30~12:00	長野県柔道連盟	勤労者女性会館 しなのき	「館長講話」	上村 春樹
4	2017/5/28(日) 10:00~15:00	青森県柔道連盟	青森公立大学	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説、実技指導	大島 修次
5	2017/8/21(月) 15:00~17:00	日本中学校体育連盟	福岡国際センター	中学校における柔道指導者の在り方について	鮫島 元成
	2014/8/22(火) 9:00~10:00		福岡国際会議場	国際柔道連盟試合審判規定の考え方について	藤春 孝志

6	2017/9/3(日) 10:00~15:00	鳥取県柔道連盟	鳥取県立武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説、実技指導	岡田 保彦
7	2017/9/18(日) 12:30~16:30	富山県柔道連盟	新湊アイシン軽金属 スポーツセンター 武道館	「基本指導・安全指導」	向井 幹博
8	2017/10/29(日) 9:00~12:00	江戸川区柔道会	西葛西スポーツ センター	「柔道の技」解説と指導	向井 幹博
9	2017/11/12(日) 10:00~16:00	埼玉県柔道連盟	埼玉県立武道館	「投の形」	南保 徳双
10	2017/12/17(日) 9:30~15:30	札幌柔道連盟	北海道立総合体育 センター	「講道館護身術」	眞喜志 慶治
11	2018/1/21(日) 14:00~16:00	富山県柔道連盟	新湊アイシン軽金属 スポーツセンター 武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」について	大島 修次
12	2018/2/3(土) 10:00~14:00	全日本柔道少年団	講道館新館2階教室	柔道講話	平野 弘幸
				(質疑応答)	平野 弘幸
				国際柔道連盟試合審判規定・少年申し合わせ事項	平野 弘幸

③講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師・形			
				投の形	固の形	極の形	講道館護身術
1	4月16日 (日)	中国	岡山県 岡山武道館	投の形	固の形	極の形	講道館護身術
				仮屋 力	山本 三四郎	宇津木 俊博	片田 誠
2	5月6日 (土)	東京	講道館	投の形	固の形	講道館護身術	五の形
				南保 徳双	道場 良久	片田 誠	佐藤 正
3	5月7日 (日)	東海	愛知県武道館	投の形	固の形	極の形	講道館護身術
				向井 幹博	下山 陽邦	宇津木 俊博	眞喜志 慶治
4	5月21日 (日)	北海道	北海道立総合 体育センター 武道室	投の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				南保 徳双	鮫島 元成	眞喜志 慶治	宗 義明
5	5月21日 (日)	東北	青森県 みちぎんどリー ムスタジアム	極の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				村田 直樹	尾形 敬史	福島 美智男	千葉 翠
6	5月27日 (土)	近畿	講道館大阪	投の形	固の形	講道館護身術	五の形
				平野 弘幸	福島 美智男	小野沢 弘史	佐藤 正

7	5月27日 (土)	九州 (北部)	大分県立総合 体育館	柔の形	講道館護身術	五の形	古式の形
				永井 多恵子	藤田 真郎	松井 勲	山本 四郎
8	5月28日 (日)	四国	高知県立武道館	投の形	固の形	講道館護身術	五の形
				小俣 幸嗣	下山 陽邦	向井 幹博	松下 三郎
9	6月10日 (土)	北信越	長野県 小諸市武道館	極の形	柔の形	五の形	古式の形
				道場 良久	尾形 敬史	榎 義治	佐藤 正
10	6月17日 (土)	九州 (南部)	熊本県 人吉スポーツパ レス	柔の形	講道館護身術	五の形	古式の形
				鮫島 元成	濱名 智男	小野沢 弘史	宗 義明
11	7月1日 (土)	関東	埼玉県立武道館	極の形	柔の形	講道館護身術	五の形
				村田 直樹	永井 多恵子	藤田 真郎	小志田 憲一

④海外派遣

ア. 本館による短期派遣

○八段 藤田真郎

中国河南省（視察）

平成29年6月12日～15日

○八段 藤田真郎

シンガポール（指導・昇段審査）

平成29年7月21日～24日

○八段 宇津木俊博、八段 村田直樹

米国（形講習会）

平成29年7月23日～31日

○七段 真喜志慶治、五段 泉浩

アルメニア（武道フェスティバル）

平成29年9月13日～19日

○七段 小志田憲一、六段 大辻広文

インドネシア（視覚障害者柔道）

平成30年2月8日～13日

○七段 小志田憲一、五段 窪田友樹

ジンバブエ（視覚障害者柔道）

平成30年2月21日～27日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

○参段 齋藤太成

ミャンマー（SEA games 対策強化）

平成29年5月10日～8月31日

○八段 大迫明伸、六段 矢野雄大

香港（審判・コーチングセミナー）

平成29年10月21日～22日

ウ. IJF アカデミー への派遣

○七段 向井幹博

ハンガリー

平成29年6月4日～10日

○七段 向井幹博

南アフリカ

平成30年1月27日～2月4日

○六段 仮屋力

チュニジア

平成30年2月13日～18日

- エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣
 ○八段 伊志嶺朝秋、参段 齋藤太成
 マカオ 平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日
- オ. 国際交流基金による短期派遣
 (国際交流基金アジアセンターと本館の共催事業 JITA-KYOEIPROJECT による派遣)
- 六段 仮屋力、五段 桐生習作
 ブルネイ・シンガポール (視察・デモンストレーション) 平成 29 年 5 月 14 日～19 日
- 八段 藤田真郎、七段 平野弘幸
 ミャンマー (指導・昇段審査) 平成 29 年 5 月 17 日～25 日
- 八段 藤田真郎、七段 小志田憲一
 マレーシア (SEA Games 視察) 平成 29 年 8 月 24 日～28 日
- 八段 藤田真郎、六段 南保徳双
 タイ (指導・昇段審査) 平成 29 年 12 月 6 日～12 日
- 八段 鮫島元成、七段 山本三四郎
 ラオス (指導・昇段審査) 平成 30 年 2 月 21 日～28 日
- カ. 日本武道館による武道団マレーシア派遣
 ○光本健次、濱名智男、青木伸司、石松和資、下山陽邦、粟野靖浩 平成 29 年 11 月 8 日～15 日
- キ. IJF、JUA 諸会議及び大会への派遣
- 上村春樹館長、仮屋力
 ハンガリー (世界選手権大会) 平成 29 年 8 月 23 日～9 月 5 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 ロシア (嘉納治五郎記念大会) 平成 29 年 9 月 5 日～8 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 イタリア (世界形選手権大会、トレーニングキャンプ) 平成 29 年 10 月 6 日～9 日
- 村田直樹、宇津木俊博、道場良久、宗義明、向井幹博、小志田憲一、大辻広文
 イタリア (世界形選手権大会、トレーニングキャンプ) 平成 29 年 10 月 6 日～9 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 クロアチア (世界ジュニア選手権大会) 平成 29 年 10 月 18 日～22 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 ポルトガル (柔道連盟記念式典) 平成 29 年 10 月 28 日～29 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 モロッコ (世界無差別選手権大会) 平成 29 年 11 月 9 日～14 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 フランス (グランドスラム・パリ) 平成 30 年 2 月 8 日～12 日
- 鮫島元成
 フランス (VTR 作成打合せ) 平成 30 年 2 月 9 日～15 日
- 上村春樹館長、仮屋力
 ドイツ (グランドスラム・デュッセルドルフ) 平成 30 年 2 月 21 日～27 日

⑤ J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員に関わる事業

ア. J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

- i. 期間 : 平成 29 年 9 月 6 日～27 日
受講者 : 平成 29 年度 3 次隊 3 名
参段 竹谷元太 参段 工藤龍馬
女子参段 中尾智栄子
- ii. 期間 : 平成 29 年 3 月 6 日～29 日
受講者 : 平成 30 年度 1・2 次隊 12 名
四段 蛭田義洋 参段 村上瑠希也
参段 畑谷大樹 参段 矢古宇大貴
参段 瀧本庸平 女子参段 八木絢圭
参段 小野寺絃 参段 歌代勇祐
参段 白石匠 参段 石崎信太郎
参段 芦田弘毅 女子参段 氏家美優

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員
平成 29 年度に任期を終了して帰国した隊員 (計 7 名)

- 参段 関口裕喜 (ガボン) 参段 小林大起 (チリ)
参段 射手矢弦太 (パナマ) 参段 江口吹樹 (サモア)
参段 水野泰晴 (マダガスカル) 参段 村山寛 (ラオス)
参段 松本慎平 (パラグアイ)

平成 29 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員 (計 17 名)

- 参段 岩永憲門 (ペルー) 参段 藤原巧 (ジンバブエ)
参段 荒田幸里 (ラオス) 参段 森孝臣 (ドミニカ共和国)
女子参段 内田美優 (ブータン) 参段 藤中拓馬 (インドネシア)
参段 大道祐二郎 (ガーナ) 女子参段 小泉陽菜 (ボリビア)
四段 石崎匡晃 (ベリーズ) 参段 花田健悟 (ガボン)
参段 大村慎太郎 (ジンバブエ) 女子参段 中尾智栄子 (ペルー)
参段 竹谷元太 (ブラジル) 参段 工藤龍馬 (マラウイ)
参段 井手龍豪 (マダガスカル) 参段 近藤健太 (ニカラグア)
参段 上林航平 (サモア)

ウ. J I C A (国際協力機構) シニア海外ボランティア

平成 29 年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア (計 1 名)

六段 三野正二郎 (コスタリカ)

平成 30 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニアボランティア (計 2 名)

七段 山縣住雄 (アルゼンチン) 四段 八木正爾 (タンザニア)